


# wish

前橋市手をつなぐ育成会報

●●●ウィッシュ

ホームページアドレス <http://m-teotunagu.moo.jp/>   
 メールアドレス [info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)  
 携帯TEL 080-7744-4300

発行所  
 前橋市手をつなぐ育成会  
 前橋市東上野町459-1  
 前橋市立前橋特別支援学校内  
 TEL027-260-3001  
 発行人 塩崎 政江  
 印刷所 マルエー印刷  
 TEL 027-232-1684



## ●●● あなたもわたしも「共に生きる」 ●●●

前橋市手をつなぐ育成会 会長 塩崎 政江

コロナ渦の中、これまでこれほど「人と会いたい」と思ったことがあったでしょうか。人と一緒にいることで安心し関わることがうれしい、それが生きていることなんだと実感しています。

人は皆、様々です。生まれた環境も育った地域も違うし、同じ地域であっても興味関心も、感じ方や考え方も、できることも違います。だからいろいろな人と会うことが楽しいし、自分の発想も広がり、学び合い育ち合えるのではないのでしょうか。それは障害児・者にも言えることです。障害のある人もない人も、障害児の親も健常児の親も、福祉施設の人も学校関係の人も、大人も子供も「共に生きる」社会を目指していきたいものです。

「共に生きる」とは、「障害児・者がかわいそうだから〇〇をしてあげる」ということではなく、「障害児・者と一緒にいるのは当たり前のこと」「障害児・者ができること、得意なことを見つけて、活躍の場を提供しよう」「障害児・者と共に生活することは、我々にとっても多くの学びの場になる」ということです。

では、どうしたらよいのでしょうか。それには、まず障害児・者と直接触れ合うことが大切だと思います。当然のことながら、障害児・者は様々な人格を持っています。一人一人が多様な個性の持ち主なのです。素晴らしい感性や表現力に接することも多いと思います。そして、障害児・者を生まれた時から育てている親の思いにも耳を傾けること、障害児・者を直接支援・指導している学校の先生や施設の方々等の努力を知ることも貴重なことだと思います。そうした活動を推進することで、自立を目指している障害児・者と「共に生きる」社会に近づけるのではないかと考えます。

このたび、前橋市手をつなぐ育成会のイメージイラストができました。このイラストのように、子供も大人も様々な個性を持った人たちも、それぞれが尊重されて一緒に生きていける前橋市を目指して、具体的な様々な実践を積み重ねていきたいと考えています。一緒にやってみましょう。



イラスト協力 岡田高明氏

### 会長退任挨拶

前会長 原澤 正光

私こと

この度6月の理事会（書面表決）にて承認され、前橋市手をつなぐ育成会の会長を退任いたしました。

9年間の在任中は、公私にわたり関係各位から格別のご芳情と御指導、そしてご支援を賜り、お蔭をもちまして役割を担わせていただくことができましたことを心から厚くお礼申し上げます。

退任後は塩崎政江新会長のもとで一会員として、微力ながら会の充実発展に協力させていただくこととしております。

皆様からいただきましたご指導ご協力に改めて感謝申し上げ退任のご挨拶とさせていただきます。

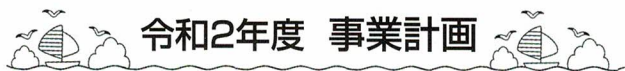


## 令和2年度 前橋市手をつなぐ育成会総会（理事会）報告

今年度の総会（理事会）は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面決議とし、昨年度の事業報告・決算報告・役員改選・今年度の事業計画・会計予算について提案させていただきました。

理事各位のご協力により、全ての議案について原案（本紙面掲載）通り承認されましたことを報告させていただきます。

なお、当総会の議決を受け、令和2年6月4日付けで塩崎政江会長以下全ての役員・理事・事務局員は正式に就任しました。会員や関係者の皆様には、これまでと変わらぬご理解・ご協力を賜りますことをお願いいたします。



### 令和2年度 事業計画

#### ○はじめに

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国手をつなぐ育成会連合会及び群馬県手をつなぐ育成会主催の大会、研修会は年内はほぼ中止が決定しました。本会の事業についても、今後の状況により中止や延期といった対応を判断していくこととなりますので、あらかじめご了承ください。

#### (1) 啓発事業

##### ①会報の発行

年間3～4回を目標に発行  
全会員及び関係機関に配布  
各学校・施設の紹介や行政の動向等情報をお伝えします。

##### ②インターネットの活用

ホームページ等にて本会の紹介や、障害のある方への教育・福祉等の様々な支援体制の現状等について、情報発信や情報交換を行います。

（ホームページアドレス）

<http://m-teotunagu.moo.jp/>

（メールアドレス）

[info@m-teotunagu.moo.jp](mailto:info@m-teotunagu.moo.jp)

◎本年度の福祉パレードは中止となりました。

#### (2) 研修事業

##### ①研修会等への参加

※手をつなぐ育成会 県大会・関東甲信越大会・全国大会は中止

※群馬県手をつなぐ育成会主催保護者研修会等も中止

※年明けの開催については現時点では未定

##### ②障害福祉先進地域の施設見学等

※年度内に実施できるかは、今後の状況で判断

##### ③インターネットを利用した、会員向け研修開催

オンライン研修や意見交換等に取り組んでいきます。

#### (3) 委託事業

##### ①県育成会「レクリエーション活動等推進事業」の受託開催

今年度受託事業

・ハイキング（ゆうあいハイキング）

・料理教室

・家族教室（あんしんノート勉強会）

※年度内に実際に開催できるかは、今後の状況で判断

#### (4) 団体等の活動費助成

##### ①保護者会等活動助成・団体組織活動助成

本人たちの余暇活動（休日や夜間）や、各施設の保護者会・家族会活動の充実に助成します。

##### ②学校関係活動助成

前教研特別支援教育部会、特別支援学級担任会の活動助成

市内特別支援学級・特別支援学校作品展等への開催助成

#### (5) 関係機関・団体との連携、陳情行動

関係機関、自立支援協議会、施設・作業所保護者会等との連携を強化、意見交換や課題分析、ニーズの集約などを行います、必要に応じて市に対し意見陳情や政策提言を行います。

#### (6) 地域生活支援事業

##### ①保護者会等交流会

施設・作業所保護者会、特別支援学校PTA等の交流会を開催します。

年2回（11月・3月）開催予定

※今後の状況を見て開催を判断

##### ②権利擁護や相談支援体制を整備

##### ③本人部会結成及び活動の支援

##### ④群馬県知的障害児者生活サポート協会総合補償制度への加入促進

##### ⑤地域生活勉強会

地域生活を支えていくための社会資源の整備や制度づくりなどについて学び、意見交換を行います。

##### ⑥おしゃべり交流会の開催

前橋市総合福祉会館にて月1回開催（概ね第2火曜日）テーマを決めて勉強及び自由に話せる時間を持ちます。

※9月までは休止、それ以降は状況を見て再開時期を判断

※現在、LINEグループを利用して限定的に開催

##### ⑦本人レクリエーション（ボウリング大会等）

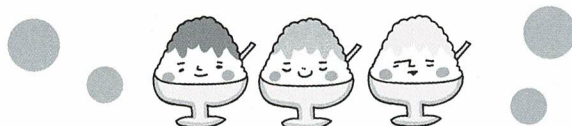
県生活サポート協会の支部支援活動助成を申請して実施します。

※年度内に実際に開催できるかは、今後の状況で判断

#### (7) その他

##### ①令和4年度 群馬県手をつなぐ育成会大会（前橋大会）準備

令和4年度、本会が開催担当となっていますので、準備を進めていきます。





1.収入の部

(単位/円)

項目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	備 考
繰越金	137,106	137,106	前年度より
会費	1,300,000	1,223,155	普通会員517人、賛助会員491人、PTA団体会費44校
補助金等	680,000	680,000	市補助金48万、県育成会委託事業18万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	35,603	行事参加費、利子等
計	2,118,106	2,075,864	

2.支出の部

(単位/円)

項目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	備 考
会報発行	180,000	217,916	年4回(印刷・郵送等)
施設見学会費	100,000	65,470	前教研・特担会研修の貸切バス代
県育成会委託事業	180,000	219,315	料理教室、ゆうあいハイキング、親なきあとを考える研修会
保護者会等活動助成	270,000	246,000	光明園、たんぼぼ学園、アリスト前橋、まほろ、サニースマーケット、らいず、なかま、第1・2・3作業所、デイサービスセンター
学校関係活動助成	80,000	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織の活動助成	230,000	210,000	前特同窓会、からたち学級、わの会、水泳クラブ、陸上クラブ、フライングディスククラブ
研修費	130,000	126,585	研修会、県大会、関プロ大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	100,000	51,572	おしゃべり会、保護者会等交流会、ボウリング大会
会議費	90,000	99,063	事務局員会議等
需用費	100,000	82,907	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙等
通信費	60,000	48,377	切手代、インターネット接続料、携帯電話利用料
交通費	260,000	245,900	事務局員の行動旅費
備品購入費	10,000	1,748	散歩の駅合鍵代
負担金	280,000	278,000	県育成会、社協、福祉パレード、相談員連協会費
雑費	7,000	41,475	慶弔費等
予備費	1,106	0	
特別会計繰入金支出	40,000	40,000	印刷機購入代金令和元年度返済分
計	2,118,106	2,054,328	

3.差引残高(次年度へ繰り越し) 収入 2,075,864 - 支出 2,054,328 = 差引残高 21,536

1.収入の部

(単位/円)

項目	令和2年度予算額	備 考
繰越金	21,536	前年度より
会費	1,250,000	普通、賛助、PTA団体会費
補助金等	680,000	市補助金48万、県育成会委託事業18万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	利子等
特別会計繰入金収入	200,000	運転資金不足分
計	2,152,536	

2.支出の部

(単位/円)

項目	令和2年度予算額	備 考
会報発行	180,000	年3回(印刷・郵送等)
委託事業費	180,000	料理教室、ゆうあいハイキング、あんしんノート普及研修会
保護者会等活動助成	260,000	申請により助成
学校関係活動助成	130,000	前教研・特担会研修費補助・特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織活動助成	220,000	申請により助成
研修費	30,000	研修会・県大会の参加費・交通費等・関プロ・全国大会が中止となり減額
地域生活支援事業	60,000	地域生活勉強会等
会議費	100,000	事務局員会議等
需用費	100,000	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙、トナー、インク等
通信費	80,000	切手、インターネット接続料、携帯電話利用料
交通費	250,000	事務局員の行動旅費
備品購入費	15,000	備品、修理費
負担金	277,000	県育成会、社協、福祉パレード
雑費	7,000	慶弔費等
予備費	23,536	
特別会計繰入金支出	240,000	印刷機購入代金令和2年度返済分
計	2,152,536	

1.収入の部

(単位/円)

項目	金額	備 考
繰越金	222,136	地域生活支援事業等準備金
本会計繰入金収入	40,000	印刷機購入代金令和2年度返済分
計	262,136	

2.支出の部

(単位/円)

項目	金額	備 考
本会計繰入金支出	200,000	令和2年度運転資金不足分
計	200,000	

令和元年度

会計決算報告

令和二年度

会計予算

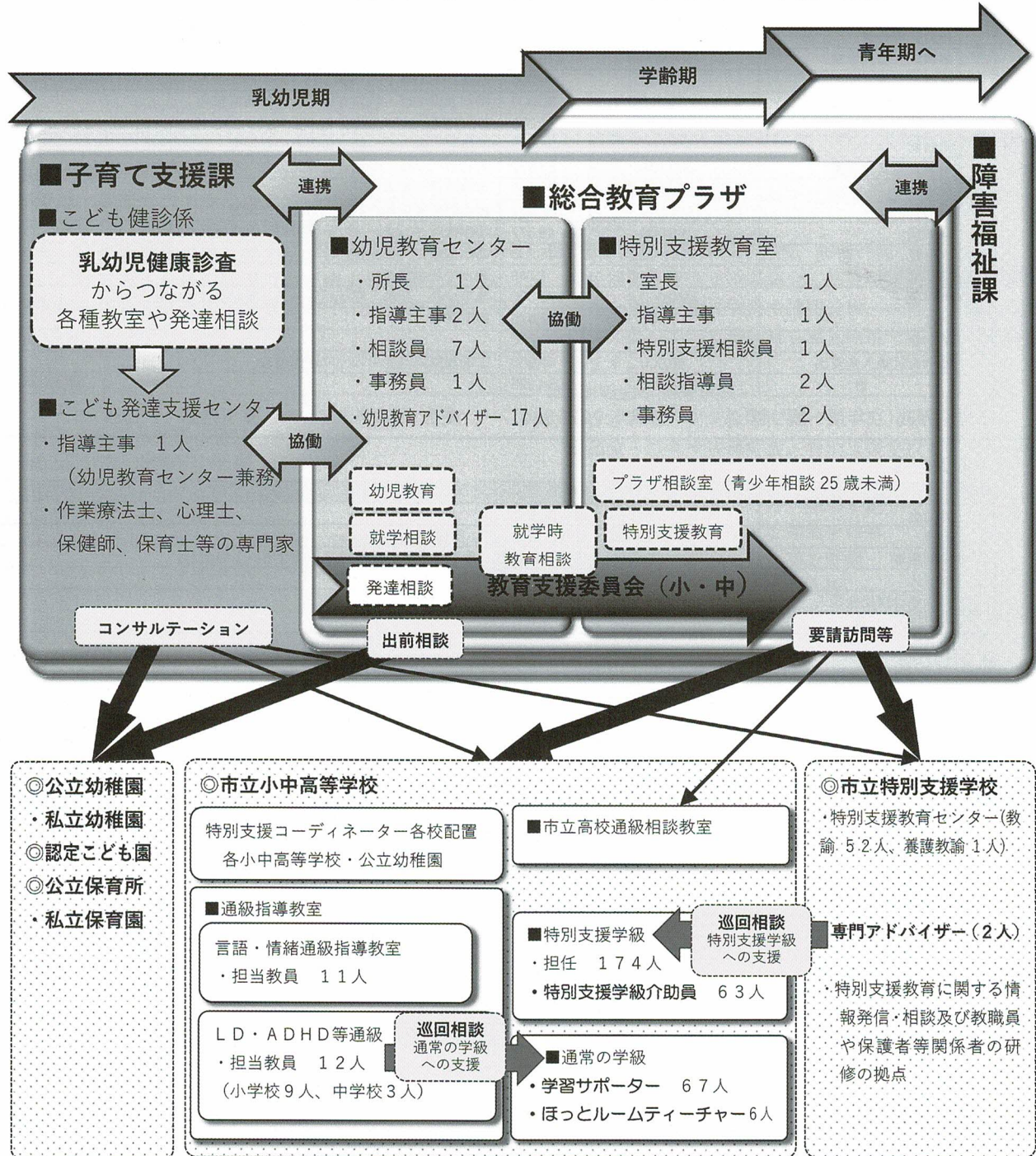
特別会計予算



### 早期からの切れ目ない特別支援教育の連携と支援体制

### 前橋市総合教育プラザ特別支援教育室

前橋市では障害福祉課、子育て支援課、総合教育プラザ等が層をなして、ライフステージに応じた支援を行っております。特別支援教育室と幼児教育センターが協働しながら、子育て支援課と連携したスムーズな就学支援や、就学後の教育支援の充実を目指しています。学齢期では、通常の学級への支援として「学習サポーター」や「ほっとルームティーチャー」、特別支援学級への支援として「特別支援学級介助員」等を学校や学級の実態に応じて配置しています。また、先生方の特別支援教育についての資質向上と、指導・支援の充実を目的として、特別支援に関する専門家による巡回相談・要請訪問等を行っています。中学卒業後は、学齢期において作成された「個別的教育支援計画」等を次のライフステージに引き継いだり、障害福祉課と連携して施策の情報提供を行ったりすることにより、切れ目ない支援を目指しています。



**お知らせ**

新型コロナウイルスの影響で、今年度の予定が確定しておりません事をご承ください。行事については決まりしだいお知らせいたします。ホームページ等で随時お知らせしていきます。(事務局)

**編集後記**

有難いことに施設は通所できていますが、いつ行けなくなるかと不安は続きます。行事が中止される中、施設ではいろいろ工夫して下さっていますが、家でも何か考えていくべきなのだろうと思います。難しいですが、皆さん頑張りましょう。(M)